

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	大和メディカル株式会社	事業所名	看護小規模多機能かしの木
所在地	(〒 990 - 2483) 山形市上町四丁目 6 番 2 4 号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

看護小規模多機能の特性を生かし、訪問看護と連携しながら、質の高い看護・介護の支援を行っている。在宅の利用者も徐々に増えており、通い・泊り・訪問と小規模多機能ならではのサービス提供が行えるようになった。その中には胃瘻等、医療ニーズの高い利用者もおり、利用者、家族の意向を聞きながら事業所の特性を生かした支援を行っている。今年度、併設する住宅型有料老人ホーム入居者を中心に5名を看取ったが、今後は在宅の看取り相談も増える予想し、研修や勉強会等を通じて日々自己研鑽、介護技術の向上に努力している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2017 年 10 月 30 日	従業者等自己評価 実施人数	(15) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2018 年 3 月 16 日	出席人数 (合計)	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (___ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (___ 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 (___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の都合等に応じ、柔軟なシフト、業務分担を行う ・ 自発的な研修参加を促すため、研修情報を事業所内掲示 ・ 新任者向けに業務の流れやケース毎の支援内容等をまとめ、習熟度を評価できるようチェックリスト作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望休を取り入れたシフト作成、急な都合でのシフト交換 ・ 研修情報掲示の他、指示による研修参加 ・ 入職者用O J Tチェック表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働きやすさは維持できている ・ 自ら研修の希望を言い出せないのは業務に支障がでると遠慮しているのでは？ ・ O J Tは期間を区切ったほうが評価スケールになる（何日までに〇〇をできるようにする等） ・ 会議録等の記録に皆が目を通す工夫が必要では。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス担当者会議や新規の初回訪問等に看護師が出席することで、看護師の意見を聞き、会議や訪問時の内容を看護師、介護員で確認、プランにその内容を生かしていく ・ 事業所の特性を契約や初回面談等で説明していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス担当者会議や新規面談、初回訪問等に看護師以外にも介護員が同席、同行する ・ 利用者や家族に状況に応じてサービスを都度調整する ・ サービスの特性、料金体系等を重要事項説明書や料金表を用いて説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状出来ている事を今後も継続 ・ 看護師、ケアマネは勿論だが、プラン作成には現場（介護員）の視点も必要
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーダー会議月 1 回開催し情報交換、情報共有していく ・ 地域活動も積極的に行う ・ h28 年度は年明けから看取り 2 件、今後も増えると予想し、看取りのカンファレンス等を通じて自身の支援を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーダー会議を概ね月 1 回開催（看護師、管理者、主任介護員の参加） ・ 施設行事（夏祭り）、健康教室等の施設開放、町内清掃、地域行事の参加 ・ 看取りのカンファレンスやケース検討等を通じた振り返り ・ 問題ケースについて、包括等関係機関と連携し解決に導く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状出来ている事を今後も継続 ・ 包括から相談した困難ケースを受け入れ支援した経過もあるので、今後も何かあれば依頼したい ・ 夏祭りや子供神輿は地域活動として定着している、また健康教室等で施設を地域に開放しているのも続けて欲しい

	<p>会を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多問題ケース等、包括等必要な機関と連携し問題解決を図る 		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も外に向けての支援を積極的に受け入れる ・地域包括ケアシステムに関する研修を地域包括支援センターの協力を得て開催する 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の新規相談、外部訪問の積極的受け入れ ・自宅で排泄ケアの指導を行った ・地域包括ケアシステム研修の企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の相談は、サービスの質を維持するためにも、距離や人員面を考慮して受け入れたほうが良い ・介護員は外の意識を持ち始めているので、看護師も積極的に外部展開して欲しい
III. 結果評価 (評価項目 42~44)	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ていることを継続する ・看取りや多問題家庭の増加等、個別対応が必要なケースが増えることを見込み、状況に応じたプラン見直し、職員の自己研鑽、研修の充実、会議等を通じた情報共有を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状できていることを継続する ・問題ケース、看取り等へ対応できるように、外部内部研修への積極的な参加、会議や勉強会を通じて技術や知識を習得する 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は在宅の看取りが増える傾向にある、常に学ぶ姿勢を持ち、必要とされる事業所になって欲しい ・看護小規模多機能とは何かということを自ら問いかけ、自己評価したことは有意義な振り返りになったと思う

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<p>前回は引き続き、働きやすさの評価が高いので今後も継続して欲しい。研修や資格取得等、希望があった時は業務を協力して、学ぶ姿勢を後押しすること。入職者の育成計画は時期を明示すると評価しやすい。</p>	<p>働きやすい職場環境の維持、研修情報の事業所内掲示は継続研修や資格習得の為にシフト調整の継続。入職者の育成は、到達目標、到達時期を明確にした計画を作成する。事業所の理念を改めて皆で考えてみる。記録等の回覧は、回覧印で目を通す習慣を付ける。</p>

Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	初回面談や担当者会議は看護師の参加が定着しているが、介護員が参加し、現場の意見を反映させることも必要。	利用者や家族に状況に応じてのサービス調整、サービスの特性、料金体系等を重要事項説明書や料金表を用いての説明は今後も継続。担当者会議等は主任介護員や主任に準ずる立場の職員が参加できるように業務調整し、多職種によるプラン作成ができるようにする。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	リーダー会議を定期的で開催し、看護師と介護員の間で意思疎通が図れるようになった。	看護師と介護員の連携は重要であると認識し、リーダー会議と共に特定行為業務等に関する会議も計画し、実施状況や介護員への教育も併せて行う。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	包括支援センターの出前研修はとても良い企画だと思う。介護員が外への意識を持ち始めているので、看護師もそれに応えて、在宅で頑張っている人たちを支援して欲しい。	超高齢社会・多死社会を迎える今後の社会において、看護小規模多機能に期待されること等、研修を行い、意識改革を行う。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	看護小規模多機能とは何かということ意識して働くことを明示してくれた。自己評価でこれだけのことを振り返り、有意義なものだったと思う。看護師と介護員の間で意思疎通等で改善点がみられている。在宅にも意識を向け始めているが、「おおよそ」の項目は改善の余地があると捉え、前向きに取り組んで欲しい。		現状出来ている事は継続する。看護師、介護員の立場の違いを理解しながら、話し合いを通じて連携を強化する。在宅を支えるサービスであると認識し、外に目を向けていく。その為の研修を企画する。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		8	6		包括から相談した困難ケースを受け入れ支援した経過もあり、地域のケースを今後も積極的に受けて下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	2	10	2		看護小規模の特性は理解していても、理念と問われると分からない職員がいるのではないのでしょうか、事業所の理念は何？と振り返るのもしいかもかもしれません。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		4	8	2	育成計画は到達目標、到達時期を明示すると評価しやすいと思います。新任者が相談できる環境を作して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」 ✓

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	1	6	4	3	業務に負担が掛かることを気にして行けない雰囲気があるのでしょうか？自発的な参加は学ぶ姿勢の表れでもあるので、協力して参加できる体制を作って下さい。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u> 無回答1</p> <p>研修を受ける機会を十分に作ってもらっている</p> <p>研修情報が事業所内に掲示されているが、自発的に参加する意識が低い</p>							
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	1	10	4		看護師と介護員の意見交換の場が増えていることはいいことです。これからも続けて下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>以前よりも看護師を巻き込んで話し合いや情報を共有する機会が増えている</p> <p>看護師間で意見が違う時がある</p> <p>情報共有の機会はあるが、個々がきちんと把握していないように感じる</p>							
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		9	5	1	議事録の閲覧や情報の把握という点では、回覧印をつけて目を通すやり方もあると思います。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>推進会議で議題に上がったことは会議等で伝達したり、議事録やホームページで閲覧できるようになっている</p> <p>議事録はみられるようになっているが、全てのスタッフが毎回目を通していない</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		11	4		評価が高い項目です。離職防止のためにも現状を維持して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <p>急な勤務変更や休みに対応している</p> <p>以前よりも報連相ができています</p> <p>無駄な残業が少ない</p> <p>主任を中心に安心して働ける環境づくりに努めている</p> <p>一人一人の行動や感情がバラバラな気がする</p>							
④ 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	2	12			今出来ている事を今後も継続して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
<p>〔具体的な状況・取組内容〕 無回答1</p> <p>利用者情報の更新はスムーズに行えている</p> <p>申し送りの他にケース記録、連絡ノートを活用し、日勤リーダーを中心にもれなく伝達するようにしている</p> <p>シフトの兼ね合いでうまく伝わらないことがある</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		12	3		今出来ている事を今後も継続して下さい。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ヒヤリハットや事故報告書を皆で話し合い、対策や改善に取り組んでいる 夜間の防犯対策が不十分 事故対策マニュアルがある 事故対策の研修をしている					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	10	4		今出来ている事を今後も継続して下さい。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 個別の緊急連絡カードを作成し、万が一に備えている 連絡リストや災害マニュアルがある 職員間の緊急連絡網があるが、災害時等の連絡方法について不明確な点がある					
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1	10	4		在宅を支えるサービスとしての期待を感じるが、現状とのギャップも感じます。今後看取りが増えていくと看護師が大きな存在になる、看護師も外部への意識を持つといいと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		7	8		看護と介護の話し合いの場が増えているようなので、今後も継続して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		10	4		ケアマネが中心になって計画を作成すると思いますが、現場の意見として介護員の視点も必要だと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	1	9	4		今出来ている事を今後も継続して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
<p>③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成</p> <p>[具体的な状況・取組内容] 無回答1 会話や声がけなど、日常の関わりで回復向上の支援ができています 簡単な機能訓練程度しかできていない ポジショニングや運動の仕方等、理学療法士に相談できる環境にある 計画作成はケアマネが行っている</p>							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	2	8	3	1	項目 13 同様、介護員がプラン作成に関わると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
<p>[具体的な状況・取組内容] 無回答1 前よりも看護師との連携がとれるようになった レベル低下や看取り等への移行もスムーズに行えた 立場的に計画作成に直接携わる機会がない</p>							
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		13	2		今出来ている事を今後も継続して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
<p>[具体的な状況・取組内容] 変化があった時は報告や話し合いをし、計画見直し、変更している 早期発見と言われると難しい</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		自分の立場では情報収集の段階					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	2	9	4		定員の兼ね合いで要望どおりにいかないこともあるようですが、概ね調整できているようです。遠方の相談もあるとのことですが、サービスの質を維持するためにも、受け入れる範囲は限定されても仕方ないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	6	7	1	医師への報告等は看護師が中心、各利用者にかかりつけ医がいて、家族から伝えてももらうこともあります。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		13	2		今出来ている事を今後も継続して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		役割分担があいまいになるときがある 状況に応じて急変等にも柔軟に対応して いると思う 相談しながらできていると思うが、自分 自身をもっと学ばなければならない					果的・効率的なサービス提供のため に、各々の専門性を活かした役割分 担や、業務の状況等に応じた柔軟な 役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介 護職と看護職が互いに情報 を共有し対応策を検討する など、両職種間の連携が行わ れている	1	11	3		看護師との会議や話し合い の場が増えて、意思疎通がで きているようなので、今後も 継続して下さい。	✓ 「介護職と看護職の情報共有およ び対応策の検討」について、充足度 を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている		13	2		今出来ている事を今後も継 続して下さい。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護 職への情報提供や提案等」につい て、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看 護職の専門性を活かした役割の1 つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴	1	11	2		今出来ている事を今後も継	✓ 「利用者等の理解」について、充足

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	[具体的な状況・取組内容] 無回答1 分かり易い説明を心がけているが、説明のメインは管理者になっている 質問があった時は自分よりも上級職員に確認してから説明するようにしている				続して下さい。	度を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	8	4	1	今出来ている事を今後も継続して下さい。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 無回答1 管理者や主任任せになっている 説明はしているが利用者の理解度は不明 自分自身は計画の説明等に直接携わっていない					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	9	1	3	今出来ている事を今後も継続して下さい。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 無回答1 利用者や家族が直接取り扱うことが少ないが、聞かれたときは説明している 管理者や主任等が主に関わり、自分自身は係わっていない					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		11	2	1	今出来ている事を今後も継続して下さい。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 無回答1 希望があれば管理者が中心になって計画					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		し、意向に沿った支援をしている 本人や家族の意向に沿えるように努力している 個人的に計画作成に直接関わっていない					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	1	8	4	1	今出来ている事を今後も継続して下さい。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	5	6	2	1	これから看取りは増えていくと思います。看護師との介護員の連携が図れるようにお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報	2	8	3	1	看護師の同行は定着してい	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	[具体的な状況・取組内容] 無回答1 管理者、看護師が主体となりスムーズに対応できている 退院前カンファレンスからの情報で支援できている 在宅移行は十分且つ円滑とは言えない 管理者や看護師が全て対応しており、個人的な関わりはない				るようですが、そこに介護員の視点が入って受け入れを進めるといいでしょう。	行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	2	8	3	2	今出来ている事を今後も継続して下さい。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	2	9	2	1	今出来ている事を今後も継続して下さい。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		直接連絡することがない					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	1	4	6	2	今出来ている事を今後も継続して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	8	2		今出来ている事を今後も継続して下さい。議事録は回覧印をつけて目を通すようにするといいいでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域にお		7	6	1	地域包括ケアシステムのな	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	いて果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	[具体的な状況・取組内容] 無回答1 広報誌の作成、広報誌の内容がホームページでみることができる 以前より地域交流が増えていると思う 個人的に関わりが無い				かの社会資源であると言う自覚を持ち、引き続き地域の方と協同でいろいろ行ってもらえればと思います。	<p>価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</p> <p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</p>
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		4	5	4	在宅の要望に応えられるように、訪問看護事業所の意識改革を促しましょう。	<p>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積	5	9			今出来ている事を今後も継続して下さい。	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で き て い ない	全 く で き て い ない		
	極的に受け入れている	いる 災害時、緊急時等の電力が不安					整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1		3	10	今出来ている事を今後も継続して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u> 無回答1 前例がない(ニップは受け入れているが)受け入れできるのか分からない 現時点では人工呼吸器の受け入れはしないという施設方針である(ハード面で受け入れ出来ない)</p>					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	10	3		今出来ている事を今後も継続して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u> 無回答1 多職種と協力し受け入れしている 看取りに関するマニュアルがあり受け入れ体制がある 積極的と言われると良く分からないが、受け入れ体制はあると思う</p>					
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が			11	2	地域包括支援センターの出	✓ 「内容等の理解」について、その充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	[具体的な状況・取組内容] 無回答2 理解できていない 自ら学ぼうとする姿勢がなかった 法改正に把握が追い付かない 個人的に良く分らない				前研修はとて素晴らしい企画だと思います。	<p>足度を評価します</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	2	5	6	1	外に意識が向いて受け入れし始めているので、今後も継続してお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		2	5	7	今出来ている事を今後も継続して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要とな

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		らない					<p>る保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		2	8	4	<p>今出来ている事を今後も継続して下さい。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] 無回答 1</p> <p>家族へ介護指導を行ったケースがある</p> <p>施設を開放し、地域住民向けの介護教室等を行っているが、他の具体的な活動はないように思う</p> <p>利用者や家族、近隣住民への働きかけは不十分</p> <p>そのような取り組みはしていない</p> <p>管理者任せで個人的な関わりは無い</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている⇒回答数9 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている⇒回答数4 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 無回答2 目標達成はこれくらいの割合だと思う 達成されているのかどうかよく分らない	今できている事を今後も継続してください。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている⇒回答数3 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている⇒回答数8 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている⇒回答数2 4. 利用者の1/3には満たない⇒回答数1 [具体的な状況・取組内容] 無回答1 医療が必要な方でも積極的に受け入れ、安心感に繋がっている 看護師のオンコール体制で家族は勿論だが、職員も安心して対応できる どこまで安心が得られているのか分らない	今できている事を今後も継続してください。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている⇒回答数3</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている⇒回答数3</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている⇒回答数2</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない⇒回答数4</p> <p>5. 看取りの希望者はいない⇒回答数1</p> <p>[具体的な状況・取組内容] 無回答2</p> <p>管理者やケアマネが家族としっかり話し合いをしているので、家族は安心だと思う</p> <p>看取りの対象者はほぼ全てで取り組み出来た</p> <p>対象となる方が1/3程度で、その中では達成できている</p> <p>連泊やホーム入居の看取りが殆どで、自宅の看取り希望がない</p>	将来的には在宅の看取りも増えていくと思いますが、それに対応できる体制づくりを目指して下さい。現状では今できている事を継続して下さい。	<p>✓ 在宅での看取りを希望する</p> <p>✓ 利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>			